

引っ込んでないで 出ていらっしやい

今回は、ブライダル事業の会社を経営されている
里本真智子さんにお話を伺いました。



(株)ニッセン エヴァーズ大分
里本 真智子さん

保育料とぴったり

一番下の子が3歳の時、「1週間に一日働きますか」という求人広告が目にとまりました。お給料が幼稚園に通うことになる子どもの保育料とぴたりだったこともあり、以前働いていた保育士と全く異なる貸衣装の営業という職でしたが、「ちょっと行ってみようかな」という気持ちで再就職しました。

営業に向いていたのか3年後には営業レディのチーフになり、その後店長を経て、全国で7名しかいない分社長にこのお話をいただきました。

仕事を始めると帰宅時間もままならない状況でしたが、3

人の子もたちが小さい時は早く帰宅し、子どもの姿を見ながら、食卓を机がわりにし、家で営業の電話をしたものです。でも、出張や仕入れで家を留守にすることもあり、やはり子どもに負担がかかっていたのでしゅうか。子どもの反抗期に、「お母さんが仕事を辞めれば、解決する。」などと言われたこともありました。ちよつと辛かったですね。そんな時期に子どものことで学校に抗議に行ったことがあるのですが、「お母さんが自分のことで怒鳴り込んで来てくれた。私のことを見てくれる」と思った。」と、最近になって娘が結婚式で打ち明けてくれました。

ひざがガクガク…でも

良いことばかりでなく落ち込むこともありましたが、夫からのアドバイスや励ましもあり、本当に感謝しています。子どもたちも、今では3人それぞれ違う分野からスタッフとして会社を支えてくれています。大変だから助けてやろうという気持ちからかしら……。

ここまで頑張れたのは、人との出会いに恵まれたからだと思ふし、時間を忘れてしまうほど、「何よりこの仕事が好き」という気持ちがあったからだと思ふます。

仕事をしていくうえで、好きではないことやできないこともたくさんありましたが、越えていかなければ前には進まないし、クリアしていくことで自信もついてきますよね。私は本当はあがり性で、顔は真っ赤になるし、ひざもガクガクするんです。人前でお話をしたり、テレビに出たり、何かに挑戦するなどで越えてきました。おかげで今ではいろいろなところで講演活動もできるようになりました。講演の依頼があった時は『女性もつと元気に社会や仕事に出て！ 引っ込んでないで出ていらっしやい。』といつも言っているんです。

社長として

難しいことは、人を使うということ、利益を生まなければ社員がご飯を食べられないということ。買い物に行きカートを持つ

人を見かけると、うちの社員はいっぱい買えているのかなあと心配になります。生活のために働いているので、生活ができないのだったら、私は社長をしてはいけないと思っています。

これからの抱負

総合的なブライダルの事業を行なっていますが、先をみる力が必要だと思っています。映画を見たり、ありとあらゆる情報に耳や目を向けるようにすることでその力を養っています。いつも感性を研ぎ澄ませて、お客様は何を望んでいるのかを考えています。これからは、いかに独自性を出せるか、お客様の選択の幅を広げられるかだと思っています。

